

市報 やまぐち

昭和61年

5月1日

No. 931

人の動き (4月1日現在)

人口	120,375	(- 1,111)
男	57,638	(- 687)
女	62,737	(- 424)
世帯数	41,926	(- 732)

()内は前月との比較

発行 山口市役所
編集 企画部広報課
印刷 (株)丸二商行



（写真は、四月八日小鯖小学校の児童約五十人も参加した地下道の渡り初め）

入り口には、ちゃんと自転車は押して通るように表示してあるのにもかかわらず、乗つたまま通る人をよく見かけます。

簡単な交通道徳。お互いに守つて、事故のないよう気をつけましょう。

人と車の共存は、簡単にようでなかなか難しいものです。そのため、交通安全教育が行われ、交通安全施設も設置されています。

ここ小鯖の八反田にも、国道二六二号の拡幅工事に伴い、今までの横断陸橋に代つて地下道がお目見えしました。車が入つて来ず安全なはずの地下道。しかし、曲り角で危うく自転車と衝突——。こんな経験をしたことのある人も案外多いと思います。

入り口には、ちゃんと自転車は押して通るように表示してあるのにもかかわらず、乗つたまま通る人をよく見かけます。

新入学児童も
これで安心
小鯖に地下道完成

広域物流の拠点 県流通センター オープン

山口県流通センターの竣工式が、四月二十三日にこ
行されました。同センターは、高速交通時代に対応
し、流通機能の整備と近代化を促進するために設置
されたもので、同センターの開業により、県内消費
物資の安定供給と三次産業の基盤強化が図られ、県
民生活の向上と県経済の活性化が期待されます。

テープカットや

初荷バレー

四月二十三日、山口県流通センターの竣工式が、山口県、山口市、小郡町、地域振興整備公団、山口県流通センター（株）の主催、山口商工会議所、小郡商工会議所、立地企業の協賛に

会場となつた県立
会館広場には、関係
が出席しました。

第二回では、式典では、内閣の高官が参列され、祝賀の祝詞が述べられ、開業式が行われた。山口市内及び小郡町内をトラック及び営業車五十台がパレードをしました。

△関係者のお祝いの拍手
の中を初荷パレード

企業用地面積（四・六ha）に立地した
企業は、六十五社です。

立地企業は
卸業など65社

十二年、県において基本構想が策定されて以来、国の産炭地域振興事業を導入し、流通業界の参画を得て官民一体の推進体制により、団地造成事業をはじめ関連公共事業、団地整備事業、企業立地体制等のプロジェクトを進め、今年三月竣工しました。総事業費は、百六十五億円（見込）。センター内には、輸送・保管・集配送施設のほか、流通センター会館、公園などが設置されています。

つています。
また、立地企業を本社別にみると、県内三十七社、県外が二十八社です。

(3) 県内・外の流通センターとの
ネットワークを形成する。
現在、県内卸団地は、下関

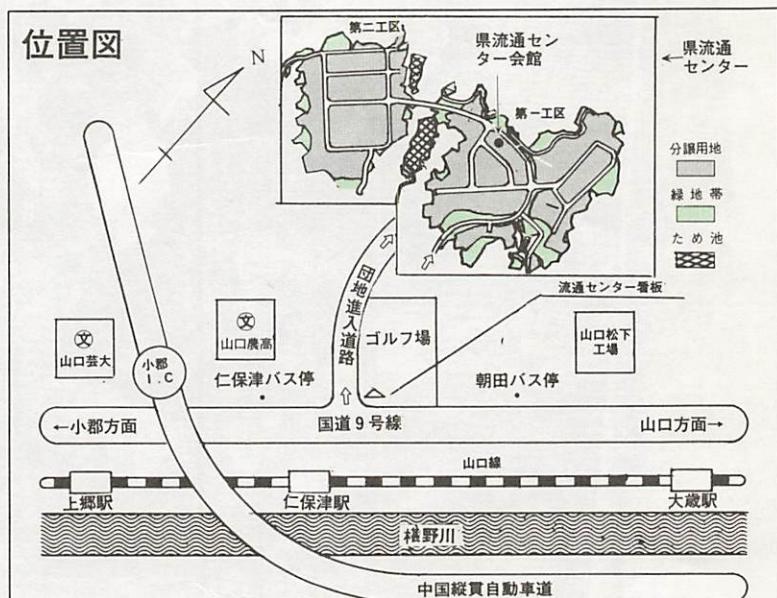
県流通センターの業務開始に伴い、今まで、広島や福岡を通して二次、三次的に山口県に流れている物資は、直接、県内に流れることとなり、県内の物資の流通は大きく変わります。

①半径五十キロメートル以内を
割は、次の四点があげられます。
一次圏域（人口約七十万人）
とし、二次圏域は全県及び
金・北九州地方に及ぶ広域物

を形成し、山口県における流通機能を強化拡充させます。④流通システム化等流通の近代化を促進する。

流通の近代化を促進
一次圏域に山陰、北九州

(二) 団地 防府 徳山
柳井



テレビ
宮野幼稚園の
幼児教育

△仁保小学校交通委員会

嘉川地区交通安全母の会会長
▽中尾勝美（62・小野田）
交通安全全協会嘉川支部副会長
部長▽唐崎スミエ（91・
湯田・交通安全カルタを貢
費製作）▽佐々木勝（40・
佐山・通学路拡幅用地の規
定）
（団体）▽佐山保育園
▽鎌銭司地区老人クラブ連
合会▽嘉川小学校PTA

○放映内容 宮野幼稚園をたずね、家庭と幼稚園の連携のもとに進められている、花だんづくりの様子や園児の生活習慣を高めるための生活カレンダーの活用状況などを紹介します。

○テレビ局 TYES テレビ
○放映日時 五月十三日から
六月三日までの毎週火曜日
午前十一時四十分から四十

テレビ
私たちのまち山口
宮野幼稚園の
幼児教育

高校総体市民運動キャッチフレーズ

“てあい ふれあい 美しいまち山口”

(3)

五月十一日（日）から六月十二日（火）までは、春季清掃月間です。この期間は、地域ぐるみで清掃し、衛生害虫発生源の除去を行います。市では、この期間中、次の重点実施事項に掲げ、自治点を相談ください。

①家庭内外の大掃除ならびに衛生害虫発生源の除去
②下水、排水溝、小川等の泥上げ
③空地、池沼周辺、海岸など人の集散する場所の清掃

会長や町内会長に依頼して各家庭、班、町内会で自主的に実施されるよう呼びかけています。

溝さらえや草刈りなどで出た汚泥や草などは、市衛生課（電話22-4111）で、五月十二日（月）から除去、運搬しますので、実施日等を事前にご連絡ください。市に除去を頼まられる場合は、汚泥と草は分けておいてください。



宮野地区での河川清掃

市による汚泥等の除去
5月12日から行います

美しい生活環境は、そこに住む人の清潔な心が伝わってきます。なお、この汚泥等の除去は、ごみ処理の困難な町内を対象に行うもので、できるだけ、各町内等で処理してください。

今月の
納税納付
(納期限5月31日)
軽自動車税

氏名	住所	電話番号
光永須美香	仁保下郷257-3（丸山）	山口0839-29-0328
伊藤治之	下小鯛3827-1（8区）	27-2120
美和サト子	大内御堀683（氷上）	27-0963
三好和子	宮野上194-3（河原）	24-8591
田中圭子	糸糸一丁目1-25（東糸糸）	23-1194
藤井美枝子	上字野令1053-7（天花）	23-1250-
小林早苗	下市町1-5（前町）	22-3083-
北村カヨ子	吉敷3050-2（下東）	25-3097
野千賀子	平井833（平井西）	22-6089
野豊子	矢原1237-6（下矢原）	24-2605
行枝三	陶3565（郷下）	小郡08397-2-2009
村昭三	鎧銭司2324-1（道の上）	四社083986-3409
富田マスエ	名田島1628（向山上）	小郡08397-2-7030
永正行	秋穂二島3603-2（南）	二島083987-3174
久保田久美子	江崎966（高見）	嘉川083989-2096
	佐山字須川（須川前）	嘉川083989-3196

美しい生活環境は、そこに住む人の清潔な心が伝わってきます。なお、この汚泥等の除去は、ごみ処理の困難な町内を対象に行うもので、できるだけ、各町内等で処理してください。

昭和61年度 山口市広報広聴モニター

県立西京高校が開校
第一期生は2百22人

県内初の体育コースが設けられた県立西京高校の開校式が、四月八日に行われました。

平川西地区（大字黒川字平木）に新設された同校は、県内六十五番目の開校で、校訓は「進取・創・信・健・和」。初代校長は國原恒美校長で、第一期生は二百二十二人です。各科の内訳は、普通科百三十五人（内、

徒の学業と運動の基盤として、設けられた寄宿舎は、「健心寮」と命名され定員は六十人です。また、体育コース生の走り初めをしました。

市では、今年度から六十四年度までの四年間、間伐の補助事業（新聞伐促進総合対策事業）を取り組みます。

詳しく述べ、市農林水産課林務係（電話22-4111）または、市森林組合（電話23-2726）にご相談ください。

間伐に対する補助のあらまし

項目	補助対象となるもの
対象区域	市内の間伐団地設定内
樹種・林齡	スギ、ヒノキの11年生から30年生まで
間伐率	成立本数の15%以上(5~6本で1本間伐)
補助金	1ha当たり50,100円
個人負担	事業費総額から補助金を差し引いた額



県立西京高校の開校式（4月8日）

間伐で良い山に 補助制度を設けました



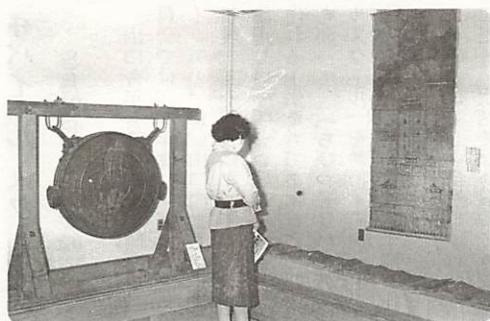
間伐をすすめよう

市民と市政のパイプ役 16人の広報広聴モニター



昭和61年度の市広報広聴モニターを勤めていたたく十六人のかたが、左表のとおり決まりました。モニターの任期は一年で、主な仕事は、市と市民のパイプ役として、地区の話題や市政への要望などを市に寄せていただくことです。これまで、モニターから寄せられた話題や市政への要望は、市広報紙づくりに協力をお願いします。

燃えろ かがやけ たくましく 61全国高校総体まであと92日



△市内の文化財24点を、一堂に展示

市歴史民俗資料館では、5月11日まで特別展「山口市内の指定文化財」が開かれている。訪れる入たちは、日ごろ見ることのできない貴重な美術工芸品に、興味深く見入っていた。



▷一人一役、ボクらもお手伝い
開催まであと三ヶ月に迫った全国高校総体。四月十九日には雨の中、市内の高校生約百二十人が、国道九号バイパス中央分離帯の草取りや清掃をして、コスモスの道づくりを手伝つた。



▷山口でがんばります
新入社員歓迎大会が四月二十一日、市民会館で開かれた。今春市内に就職した若者九十六人が参加し、講演などを聴いたあと、懇親会で交流を深めた。



△婦人60人が受講

第三期市婦人大学講座の開講式が四月十七日、市中央公民館で行われた。受講者は六十人。今後二年間、生活問題などを勉強し、幅広い知識を修得する。



△高校生をもつ親、全員集合!
二島地区では四月二十日、高校生をもつ親たちによる連絡協議会が結成された。学校の違いを乗り越えて、地域ぐるみで青少年の健全育成を考えようというもので、市内では初めて。



△1,000本の桜の下でちょっと一杯

宮野地区では4月11日、木戸山桜公園で観桜会を開いた。集まったお年寄りたち約80人は、おでんなど婦人会手作りの料理に舌鼓をうつた。

市役所一階、市民課横のロビーに、山口市とスペインのパンプローナ市、中華人民共和国の済南市との国際交流の成果を示す大型ガラスケースが登場、関係の品物が展示され、市役所を訪れる市民の目を楽しませています。

山口市が姉妹（友好）都市締結をしたパ市、済南市との締結署名書や、パ市の民俗衣装、民俗工芸品、済南市友好都市締結団が持参した友好旗や同市の陶器、工芸品などが展示されています。工費百二

国際交流の成果を展示
市役所ロビーに

十万円、国際交流を市民にも広く理解してもらおうと設置したもの。



矢原の王子尚三さん（57）が、中矢原町内会へ図書百六十冊を寄贈、このほど同地区の公会堂へ備えつけられました。

第42回 桜園会総会
(山口女子大学同窓会)

○日時 5月25日(日)午前10時～午後2時 ○場所 市民会館小ホール ○会費 2,500円
○内容 浜田寸躬子出演・ことばのしらべ「紫の山」(芝木好子作)、レクリエーションなど

大歳の王子尚三さん
町内会へ図書を寄贈

王子さんは、王子電子工業の元社長で、山口市と姉妹都市縁組を締結しているスペイン・パンプローナ市へ移民、永住のため家財を整理、その蔵書を寄贈されたものです。市への永住を決意されたのは、山口市とのパイプ役として少しでも役立てばとの思いからで、すでに同市に土地も購入、近々出国される予定です。寄贈を受けた中矢原町内会では岡本馨さん（69）がラベルをつけるなど図書を整理、同地区内の公会堂へ「王子文庫」として設置しました。

